

1 調査名称：町田市都市・地域総合交通戦略策定調査業務委託

2 調査主体：町田市

3 調査圏域：町田市内（関連周辺地域含む）

4 調査期間：平成20年度～平成21年度

5 調査概要：

町田市では、町田市基本構想・基本計画（2003年度改定）に示す「人が集まり、豊かにすごせる魅力あるまち」、町田市都市計画マスタープラン（1999年度策定）に示す都市づくりの構想や分野別方針の実現を図るための交通施策の基本方針として、2006年2月に町田市交通マスタープラン（以下、「交通マスタープラン」という。）を策定した。策定にあたっては、2004年度に交通実態調査及び交通意識調査を実施し、この基礎データ等に基づき、2030年を計画目標年次とした。

この交通マスタープランにおいて定められた「目指す交通の姿」や基本目標で掲げた「成果指標と目標水準」を着実に実現していくためには、ハード・ソフトの総合的な施策展開について、より具体的な戦略が必要である。

本調査業務委託は、その戦略となる「町田市都市・地域総合交通戦略」を策定することを目的としており、2ヶ年間で実施を予定している。

初年度は計画条件の検討設定、政策目標の検討、交通施策ニーズ調査の実施・分析を行い、短・中期的に実施すべき重点施策の方向性を定めた。

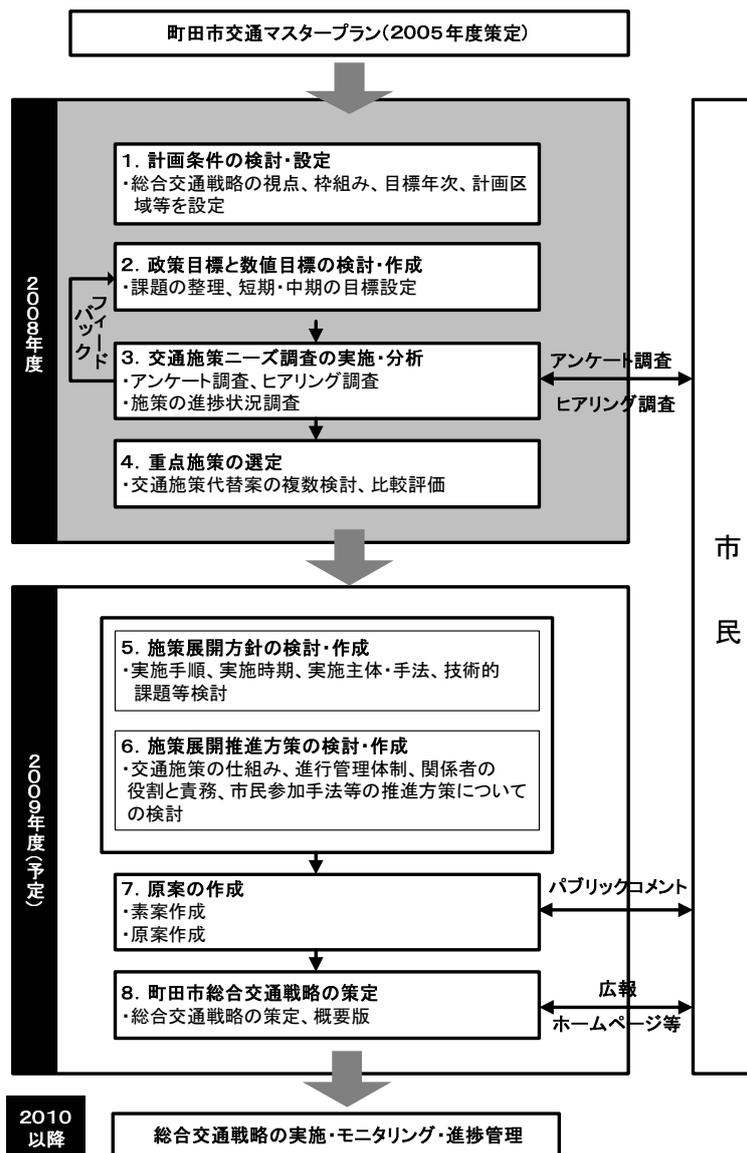
## <調査成果>

1 調査目的： 町田市では、町田市基本構想・基本計画（2003年度改定）に示す「人が集まり、豊かにすごせる魅力あるまち」、町田市都市計画マスタープラン（1999年度策定）に示す都市づくりの構想や分野別方針の実現を図るための交通施策の基本方針として、2006年2月に町田市交通マスタープラン（以下、「交通マスタープラン」という。）を策定した。策定にあたっては、2004年度に交通実態調査及び交通意識調査を実施し、この基礎データ等に基づき、2030年度を計画目標年次とした。

この交通マスタープランにおいて定められた「目指す交通の姿」や基本目標で掲げた「成果指標と目標水準」を着実に実現していくためには、ハード・ソフトの総合的な施策展開について、より具体的な戦略が必要である。

本調査業務委託は、その戦略となる「町田市都市・地域総合交通戦略」を策定することを目的とする。

## 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



## 4 調査成果

### 第1章 計画条件の検討設定

項目	内容
視点	・町田市交通マスタープランに示す「だれもが不便なく移動できるまち」の実現のための各施策について、短・中期的な政策目標（戦略目標）を定める。また、その政策目標を実現するための施策パッケージと、施策の展開方針を交通戦略として定める。
枠組み	・町田市交通マスタープランを着実に推進していくための、とりわけ短期的な戦略と位置づける。
目標年次	・都市・地域総合交通戦略は交通マスタープランの短期的な戦略であり、概ね5年以内とする。 ・また、概ね5年後には再度、都市・地域総合交通戦略の点検・見直しを行っていくものとする。
計画区域等	・町田市交通マスタープランで定める対象区域は、町田市全域であり、本総合交通戦略の計画区域も同様とする。ただし、周辺地域などと連携が必要な施策については、関係者と十分に協議・調整を行っていくこととする。

### 第2章 政策目標と数値目標の検討作成

#### 2-1 政策目標の検討

- ・全市的な政策目標は、上位計画・関連計画を踏まえ、「路線バスが利用しやすく不便なく快適に移動できるまちにする（総合的な路線バス対策）」と設定する。
- ・中心市街地における政策目標は、「中心市街地に訪れるだれもが回遊して楽しめるまちにする（駐車・駐輪、物流貨物車対策）」と設定する。

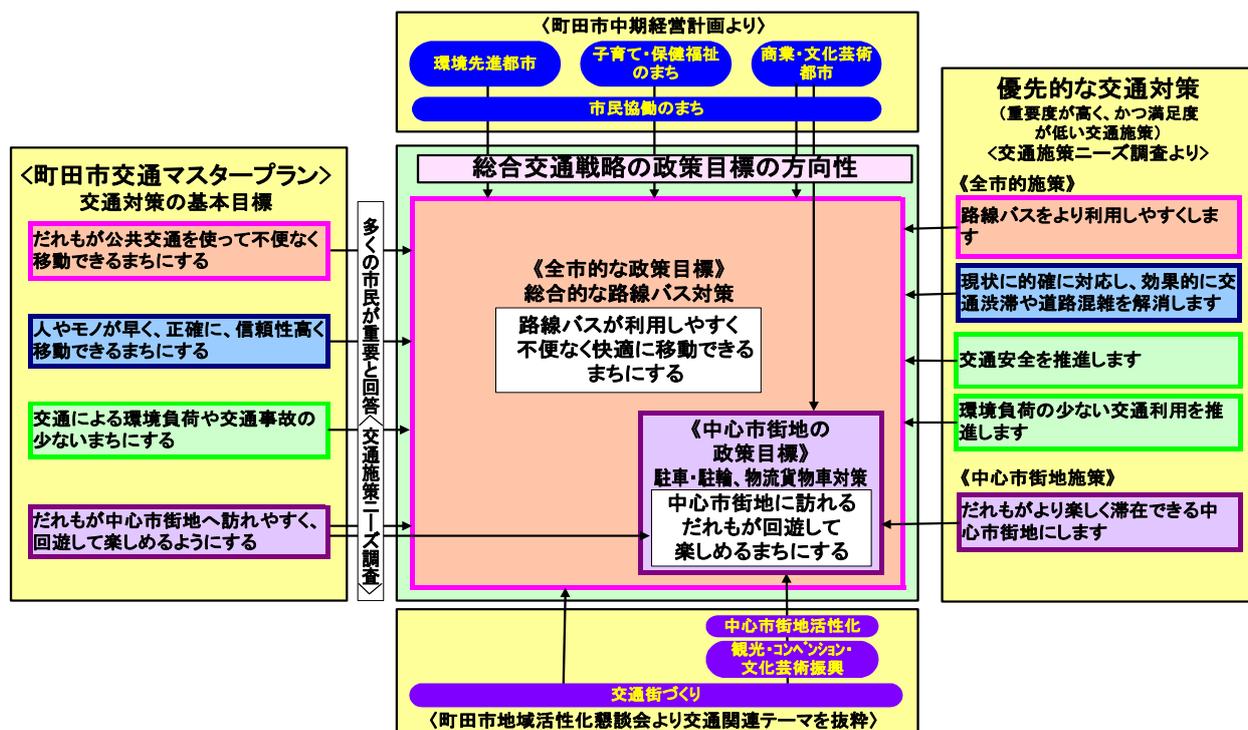


図 政策目標の設定

## 2-2 数値目標の検討

### (1) 成果指標の設定方針

- ・成果指標は、上位計画・関連計画を踏まえつつ、政策目標の実現に向けて必要となる指標を設定する。
- ・また、成果指標の設定に当たっては、「市民へのわかりやすさ」、「現状と事後（施策実施後）の変化の把握しやすさ」、「データ入手の難易度（法定調査・統計データ、簡易な実態調査等でPDCAが可能なこと）」、「可能な限り交通、社会、環境等、幅広い視野からとらえること」に留意して設定する。

### (2) 目標年次

- ・総合交通戦略の目標年次は、概ね5～10年後の目標を定める。
- ・ただし、場合によっては長期（例えば20年、30年後など）にわたる取組みを示すことが適当な場合もあり、必要に応じ、長期目標を設定する。
- ・この評価指標は、今後のモニタリング、事後評価にも用いることを前提とする。

### (3) 目標値の設定方針

- ・目標値を定めるに当たっては、上位計画・関連計画を踏まえ、定期的を実施する市民アンケート調査や交通実態データ、既存データを活用した交通量予測等の手法により、一定の根拠があるものとする。

## 第3章 交通施策ニーズ調査の実施・分析

### 3-1 アンケート調査の企画・実施

#### (1) 交通施策ニーズ調査の実施

項目	市民アンケート	中心市街地ヒアリング	隣接住民アンケート
調査対象	・町田市民：5,412世帯	・町田駅周辺の歩行者（歩行者天国内ないし歩道上で実施）	・町田市以外に居住し、町田市訪問が月1回以上の方
調査期間	・2008年12月12日 発送 ・2008年12月24日 御礼兼督促状発送	・2008年12月20日（土） 11：00～16：00	・2008年12月19日（金） ～2008年12月21日（日）
調査方法	・郵送配布郵送回収	・ヒアリング（直接聞き取り）	・WEBアンケート
回収結果	・1,625世帯、2,957票（回収率30%）	・545票	・500票

## (2) 交通施策ニーズ調査の分析（結果の総括）

### 1) 町田市の将来交通の姿

- ・将来の3つの姿（①暮らしの「安全・安心」を実現する交通、②「都市の活力」の維持・向上を実現する交通、③「環境の保全」に配慮した交通）は、どの姿についても市民は重要と考えている。しかし、現状に満足している市民は少ない。

### 2) 町田市の交通対策の基本目標

- ・交通対策の4つの基本目標（①だれもが「公共交通」を使って不便なく移動できるまちにする、②だれもが「中心市街地」へ訪れやすく、回遊して楽しめるようにする、③人やモノが早く、正確に、信頼性高く移動できるまちにする、④交通による環境負荷や交通事故の少ないまちにする）は、どの目標についても多くの市民が重要と考えている。しかし、現状に満足している市民は少ない。

### 3) 町田市の交通対策の方向性

#### ① 全市的な施策の方向性

- ・特に交通環境・道路混雑の解消や路線バスの利便性向上などについて非常に重要と考えている市民が多いが不満も高い。
- ・また、交通安全や環境負荷の少ない交通利用についても、重要と考えている市民が多く不満が高い。

#### ② 中心市街地施策の方向性

- ・中心市街地の来街者は、より楽しい滞在性（路上駐車対策や歩行者天国への車両の流入対策など）について非常に重要と考えており、満足度も低い。

## 3-2 ヒアリング調査の実施（意見概要）

- ・交通課題、交通対策については自動車、バスに関する意見が多く、市民は自動車交通やバス交通に強い関心があることがうかがわれる。
- ・交通課題を内容別にみると、渋滞、道路の不足といった自動車交通に関する意見が最も多く、次いで歩道や交通マナー、バスの便数に関する指摘が多くなっている。
- ・交通対策を内容別にみると、道路整備が最も多いものの、次いでモノレール整備を挙げており、市域を南北につなぐ幹線交通への要望が多いことがうかがわれる。

### 3-3 市民意向、関係者意見、既存資料分析等を踏まえた交通課題の再整理

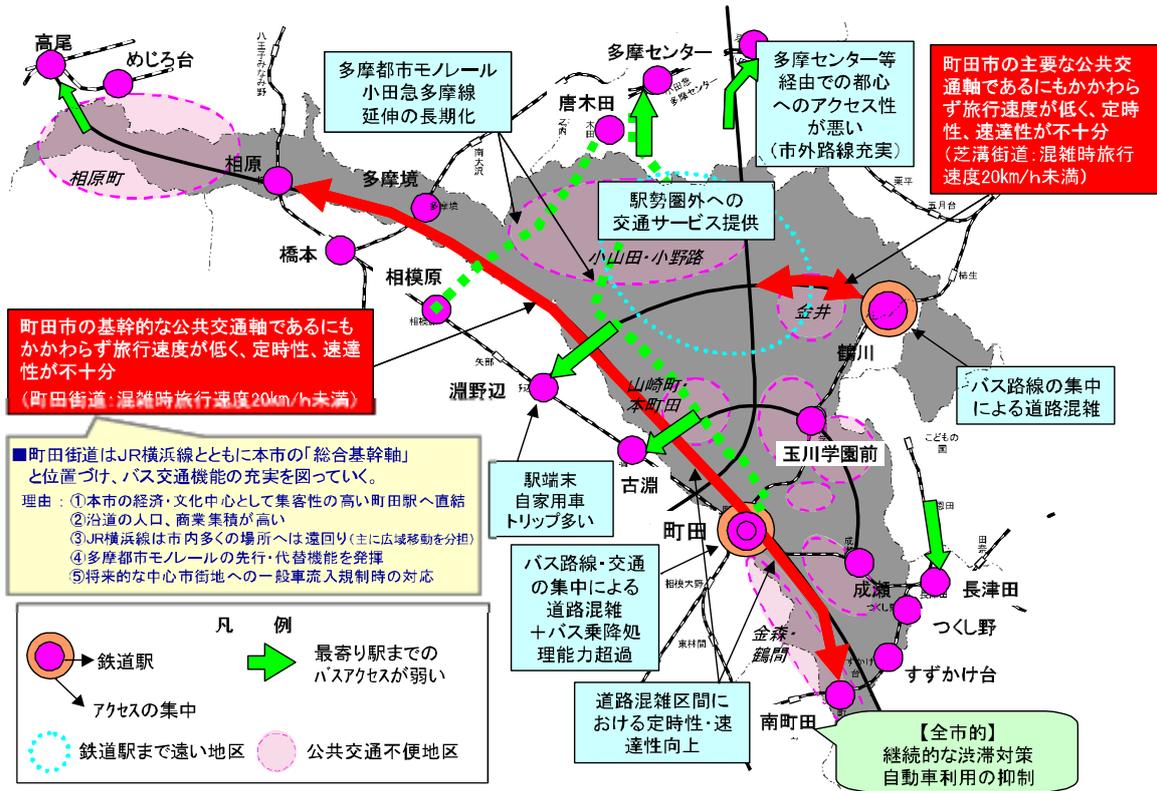


図 全市的（公共交通）に関する交通課題の再整理

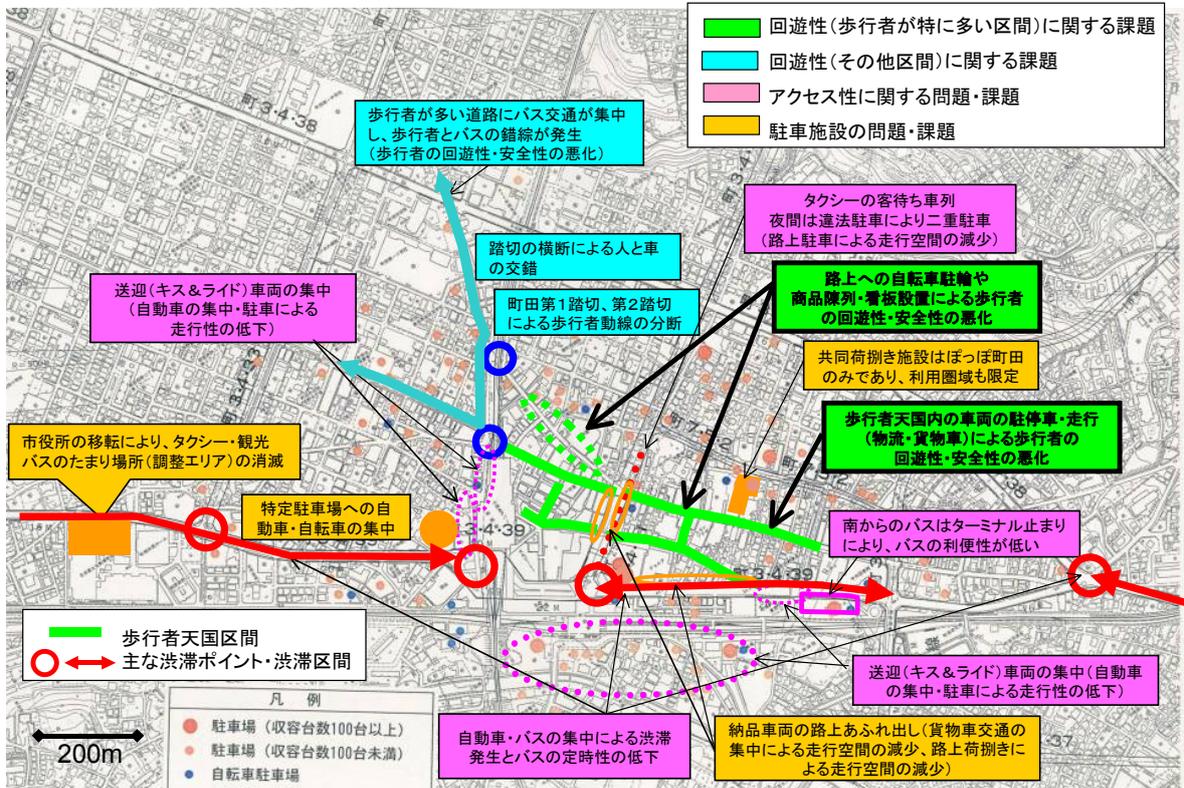


図 中心市街地における交通課題の再整理

## 第4章 重点施策の選定

### 4-1 全市的な重点施策

#### (1) 全市的施策における重要課題の抽出

・全市的な問題・課題を踏まえ、対象となる交通モードと3つの基本目標の関係から重点課題を整理した。  
 ⇒ 各交通手段の抱える問題・課題を解決するためには、「駅アクセス強化等路線網の見直し」、「定時性・速達性の向上」、「バス利用環境整備」の3つの課題へ対応することが必要

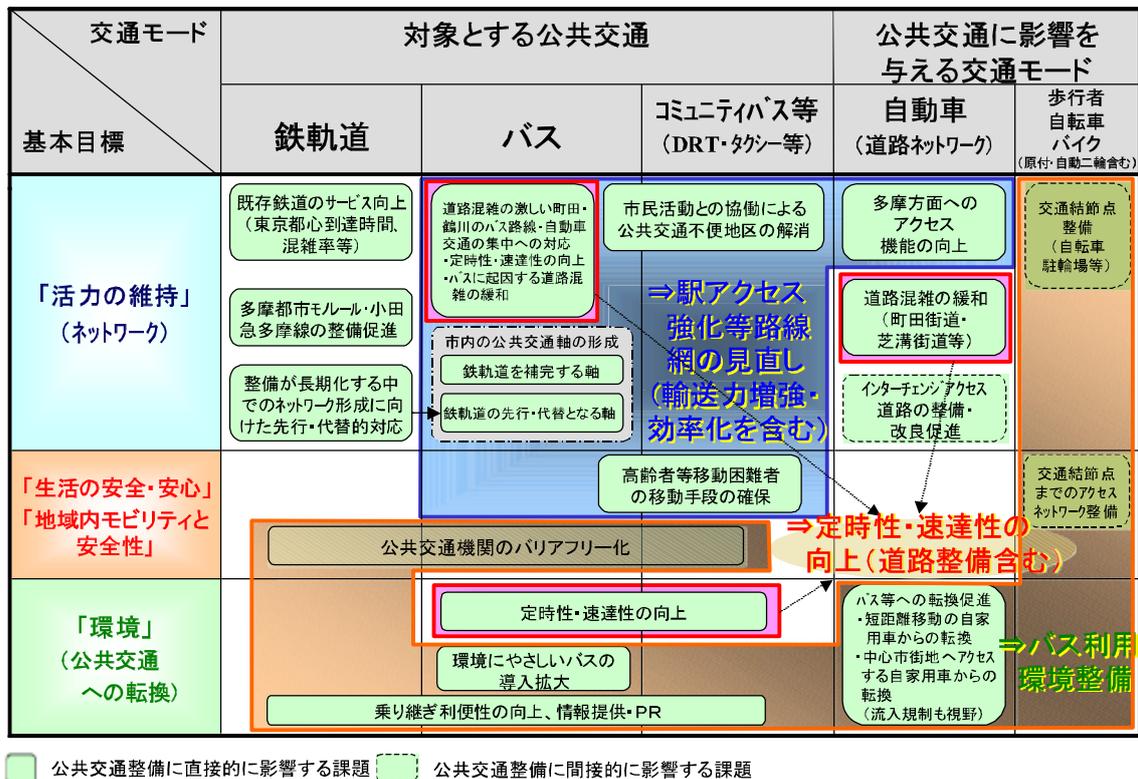


図 全市的な交通課題の相関図

(2) 全市的な重点施策の選定

・既存の上位計画、全市的な政策目標（案）を踏まえ、全市的な重点施策の選定を行った。

- 駅アクセス強化等路線網の見直し
- 定時性・速達性の確保
- 公共交通利用環境の整備

の観点から総合的な施策展開を行っていくものとする。

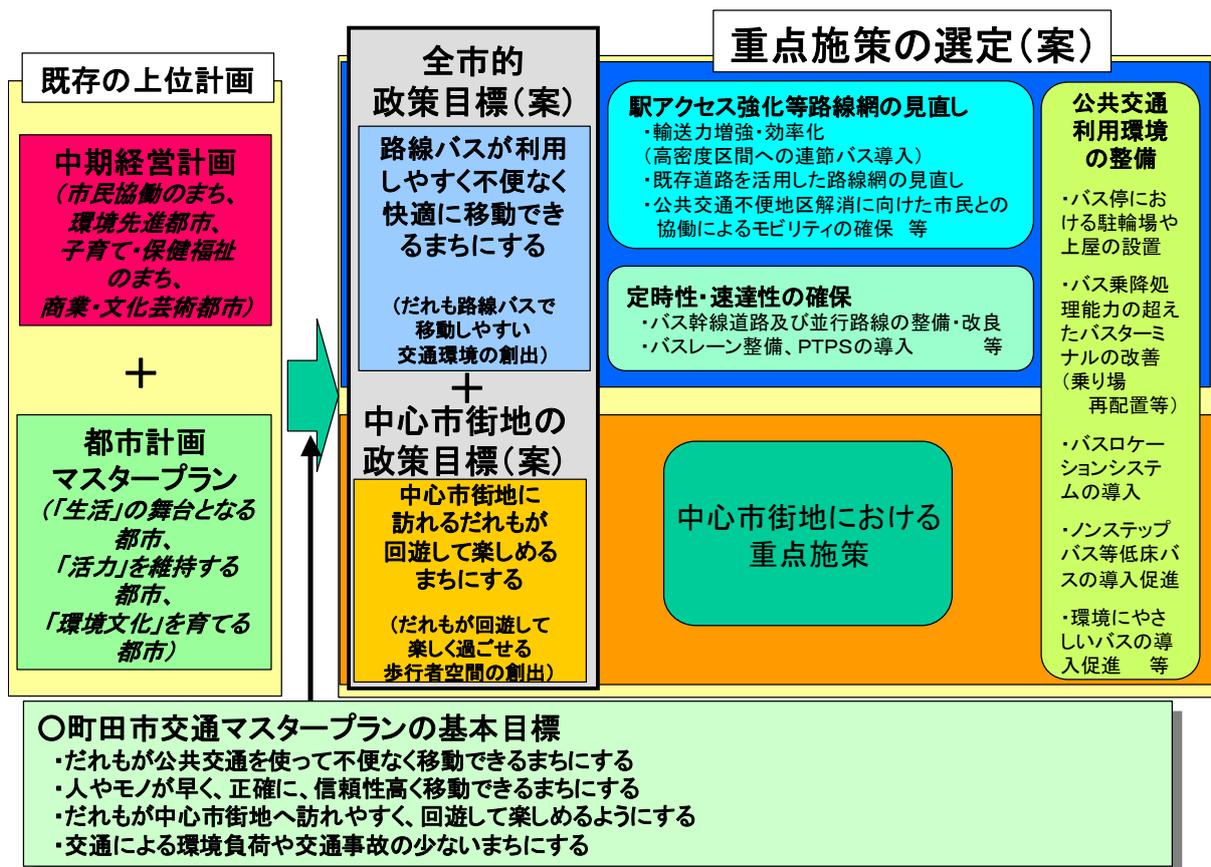


図 全市的な重点施策の選定（案）

## 4-1 中心市街地の重点施策

### (1) 中心市街地の重要課題の抽出

・中心市街地の問題・課題を踏まえ、その因果関係から重点課題を整理した。  
 ⇒ より楽しく滞在できる中心市街地の観点では『歩行者の回遊性確保』が重要課題

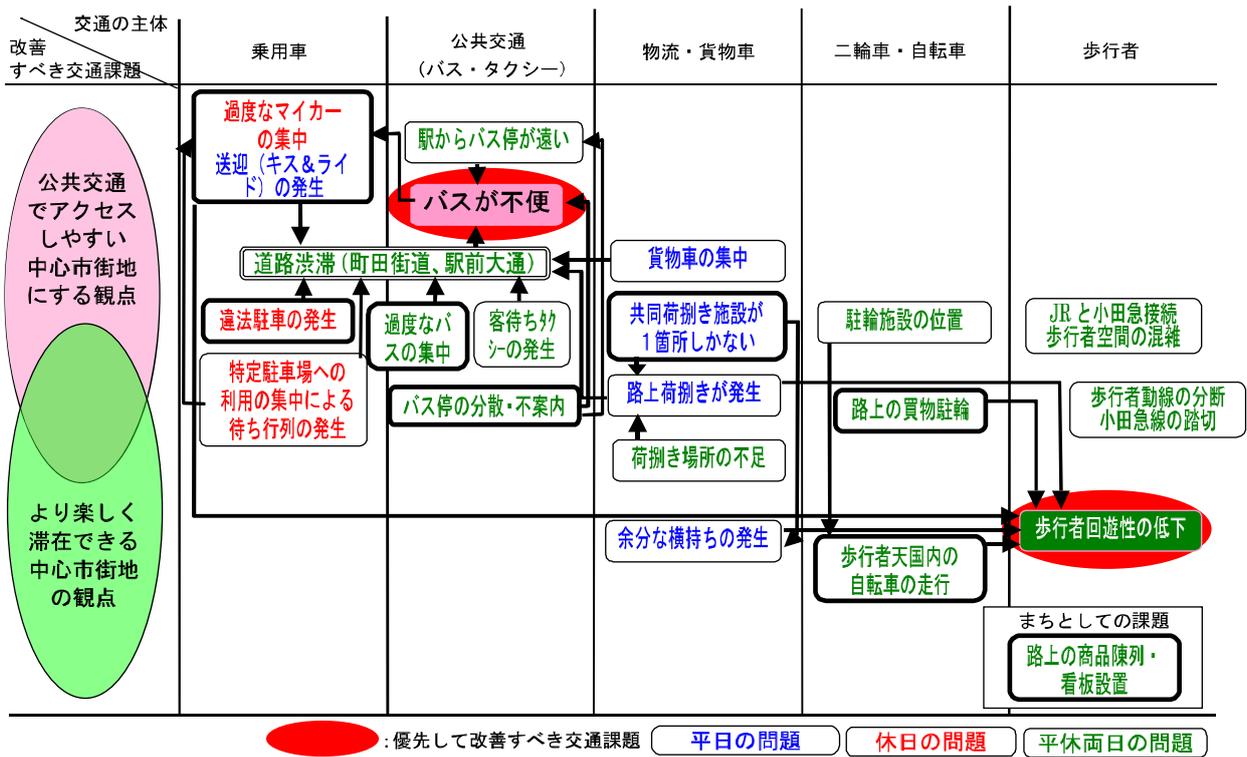


図 中心市街地の交通課題の相関図

(2) 中心市街地の重点施策の選定

・既存の上位計画、中心市街地の政策目標(案)を踏まえ、中心市街地における重点施策の選定を行った。

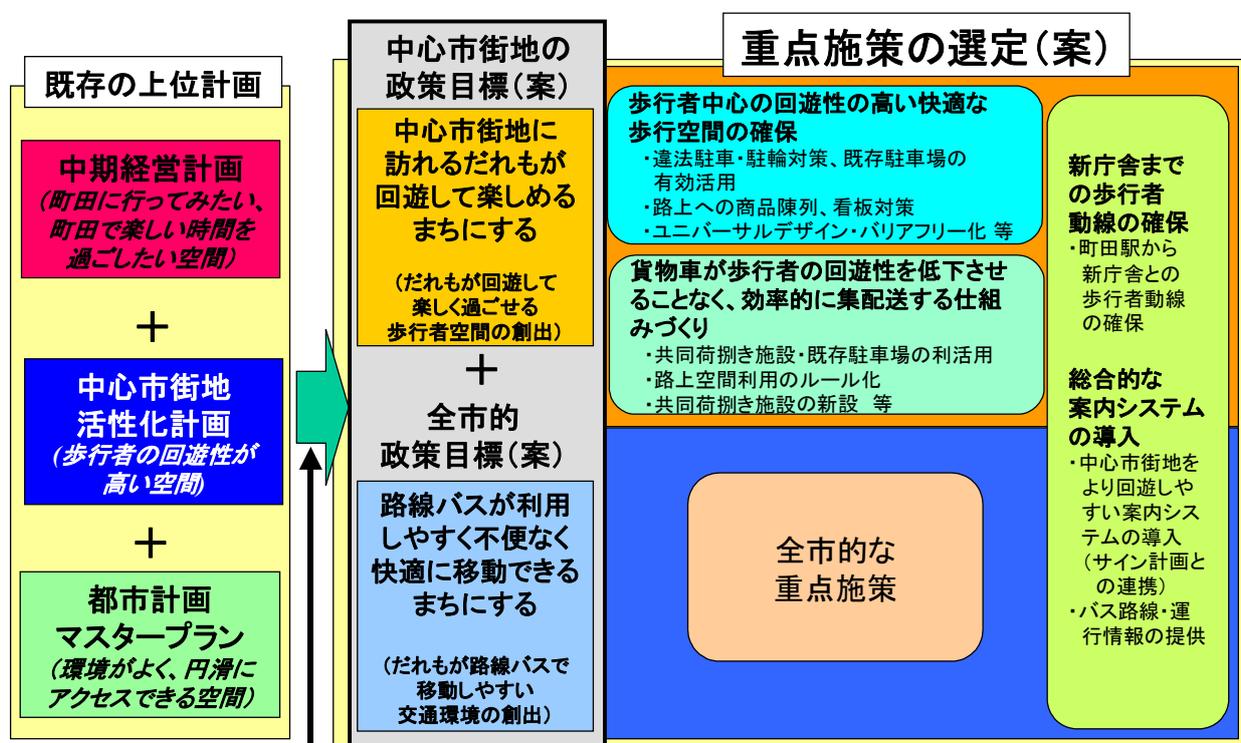
<主要施策>

- 歩行者中心の回遊性の高い快適な歩行空間確保
- 貨物車が歩行者の回遊性を低下させることなく、効率的に集配送する仕組みづくり

<関連施策>

- 新庁舎までの歩行者動線の確保
- 総合的な案内システムの導入

の観点から総合的な施策展開を行っていくものとする。



○町田市交通マスタープランの基本目標

- ・だれもが中心市街地へ訪れやすく、回遊して楽しめるようにする
- ・だれもが公共交通を使って不便なく移動できるまちにする

図 中心市街地の重点施策の選定(案)